

第28回 がん研究所セミナープログラム

2007(平成19). 2.15, 3.8

金沢大学がん研究所会議室, 金沢大学医学部記念館2階ホール

◆腫瘍制御研究分野

- サマリー 源 利 成
- GSK3 β は消火器がん治療の新しい分子ターゲットである 源 利 成
- エピジェネティクスを標的にするがん診断・治療法の開発 川 上 和 之

◆腫瘍外科研究分野

- サマリー 高 橋 豊
- Tumor dormancy therapyの新たな展開—癌を標的とする, 放射線, 化学, 免疫療法の併用— 高 橋 豊
- 胃癌に対する腹腔鏡手術と工学技術の応用 表 和 彦
—当教室におけるこれまでの取り組み—
- 胃癌腹膜播種成立における特異的ケモカインの同定とその臨床応用 安 本 和 生

◆腫瘍内科研究分野

- サマリー 渡 邊 弘 之
- 膵液中がん関連遺伝子のメチル化異常の検索による膵腫瘍診断へのアプローチ 渡 邊 弘 之
- 各種膵疾患における膵液中, *ppENK*のメチル化異常に関する検討 大 坪 公 士 郎
; MSP法とpyrosequencing法を対比して
- 当科における内視鏡的胆道ドレナージの検討 毛 利 久 継
- MCP-1が誘導する肝癌自殺遺伝子治療の免疫賦活化の検討 土 山 智 也

◆細胞機能統御研究分野

- サマリー 佐 藤 博
- がん浸潤における細胞運動とMMP活性発現の協調的制御機構の解析 滝 野 隆 久
- 抗腫瘍性ヌクレオシドに対する感受性規定因子の同定と応用 遠 藤 良 夫
- ADAMTS-1中和抗体によるコラーゲン誘導性関節炎の抑制 久 野 耕 嗣
- 新規MT1-MMP活性検出法の応用 宮 森 久 志

◆シグナル伝達研究分野

- サマリー 善 岡 克 次
- JNKの転写因子MafBに及ぼす影響 棚 橋 浩

◆ゲノム分子病態研究分野

○サマリー

山本健一

○Rad51フォーカス形成におけるチロシンリン酸化の役割の検討

清水弘子

○細胞周期を停止させる信号伝達系の解析

林直之

○アルキル化剤，活性酸素によるATMの活性化機構の解析

小林昌彦

◆細胞情報調節研究分野

○サマリー

原田文夫

○肝臓特異的microRNA，miR-122遺伝子の発現

黒木和之

○ホヤ血球の発生と生体防御機構

天野重豊

○U13 snoRNAへの変異導入が細胞内のRNA発現や機能発現へ与える影響の検討

木戸敬治

◆分子生体応答研究分野

○サマリー

向田直史

◆免疫炎症制御研究分野

○サマリー

須田貴司

○抑制性Apaf-1様分子PYNODの機能解析

今村龍

○内在性蛋白発現ノックダウンによる自然免疫系構成分子群の機能解析

木下健

◆幹細胞医学研究分野

○サマリー

西村栄美

○造血幹細胞の自己複製と分化におけるDNAメチル化酵素Dnmt3の役割

田所優子

◆腫瘍遺伝学研究分野

○サマリー

大島正伸

○マウスモデルを用いた消火器がんの分子病理発生の解明

大島浩子

◆遺伝子・染色体構築研究分野

○サマリー

平尾敦

○組織幹細胞発現分子を指標とするがん幹細胞同定マウスモデルの構築

仲一仁